

生涯学習「西柴」散策 7月4日実施

「頼朝の鎌倉、家康の鎌倉」シリーズ2

徳川の光明寺と頼朝の補陀洛寺

鎌倉駅東口～バスにて小坪…小坪天王社…小坪地藏堂…子之神社…小坂天王社…
小坪漁港…昼食…飯島…六角の井戸…光明寺…補陀洛寺解散

梅雨の時期とは思えない程の晴天と暑さの中、15人で行ってきました。

小坪は鎌倉時代には景勝地として歴代将軍も訪れています。現在は漁業に携わる人が多く暮らしており信仰心が篤く神社が多い町です。

子之神社で講師の大貫先生から説明を受けるときは、木陰を選び休憩も兼ねます。



逗子と鎌倉の境界線上にある飯島からは由比ヶ浜海岸や和賀江島がすぐ近くに見えます。

小坪漁港は近くに逗子マリーナがあるため、南国ムードも漂っています。

昼食は漁港近くの食堂で、新鮮な魚介類を堪能しまし





光明寺は材木座海岸のすぐ近くに位置しています。鎌倉幕府の4代執権の北条経時が開きましたが、徳川家などから庇護され、本堂は、重要文化財に指定されています。現在改修中です。

回廊の前は浄土式庭園です。涼しい風が流れ、思い思いに庭園を眺めました。蓮池には水蓮が咲き始めていました。

拝観を終えた後、本堂前で記念写真を撮りました。



補陀洛寺は源頼朝が祈願所として建立されたといわれています。

特に興味深かったのが平家の赤旗です。これは平家の総大将平宗盛が最後まで持っていたもののだといわれ、頼朝がこの寺に奉納したといわれています。

この寺は別名「竜巻寺」ともいわれ、何度か被害にあっているようです。ご住職は地元の消防団で活動されており、何年か前に被害を受けた地域をと地図に落とすと竜巻の通った道がよく分かったとおっしゃっていました。

暑い中での散策で終了時間を少し早くしました。疲れましたが、全員歩けたことに感謝です。